



報 告 おおねだめ

昭和55年1月号 No.324

編集と発行 鹿児島県肝属郡大根占町役場
総務課文書広報係
☎(09942)2-0511~0515
印刷 さかせがわ印刷 (09942)2-0140

町の人口 昭和55年1月1日現在推計人口
男 4,439人 計 9,505人
女 5,066人

12月1日より15人増



八〇年代を迎えて

町長 大西 幸夫

あけまして
おめでとうございます

昭和五五年の新春を町民皆様と共に迎えることができましたことは誠に嬉びにたえません。幕を閉じた昭和五四年を省みますとき、我が国は政治経済を通じて国際的にも国内的にも大変厳しい年でありました。不況は期待された様に回復を示めさずかえってイランの紛争等によって益々深刻な曇りとなり混迷の度を加えるに至っております。又昨行われた総選挙では一般消費税を中心とする増税問題、行政改革等が激しい論争の焦点となり、国の行財政運営に強い楔びが打込まれるかたちとなり、国では昭和五十五年度を財政再建元年とし、新たな方向を打出しています。

一方、町におきましては、国県道や町道等産業基盤や農業基盤の整備、教育施設、社会福祉の充実に皆様の協力をいただき、及ばずながら努力をして参ったつもりであります。反面台風16号、20号の来襲をうけ主幹作物である輪送門芸を初め大根等の農産物、道路河川等に少くない被害を蒙り、相当な経済的痛手を生じました。

このように何れをとりましても多くの不安材料を残したまま年を越したわけでありました。今年はいよいよ一九八〇年代の幕あけであります。昨年も増して激動の年であるといわれています。又私にとりましては、任期最後の年であるとともに縮くくりの年でもあります。しかも町民の方々の私共行政に対する期待と要望は年々複雑化し、多様化してまいりますが、更に厳しさを加えている町の財政事情の下でどのように対処して行くかが私に与えられた最大の課題であり深く責任を痛感するところであります。町経済の基幹である農業をはじめとする産業の振

大根占町民憲章

- ❖ 家庭の建設
お互いの対話を深め、明るい家庭をつくりまします。
- ❖ 秩序のある社会
にこやかにあいさつをかわし、平和な住みよい町をつくりまします。
- ❖ 時間励行と生産の増強
時間と物のむだを省き、生産を高め、豊かな町をつくりまします。
- ❖ 健康の増進
規律正しい生活と体力の増強につとめ、健康で明るい町をつくりまします。

興、道路、農道の整備、福祉施設等の充実、教育施設、庁舎の整備等多くの懸案が山積しておりますが、これ等の諸問題と積極的に取り組み、町民の皆様方及び町議会の御理解と倍旧の御支援をいただき、職員と一体となって期待にそうべく町勢進展のため任期最後の努力をする覚悟であります。

永年の関心事であった警察署庁舎も目下建設中であり、又、年々弱体化し不安が募っていた医療事情も肝属医師会の手によって本町に建設が決定してへき地中核医療センター、急校医療センターの機能を併せもった真に地域医療の殿堂として目下大規模の総合病院の建設がはじめられていることは深い嬉びであると同時に心から期待しているところは深い嬉びであります。

以上誠に意を尽し得ませんが、年頭にあたった所の感に替えさせていただきます。

最後になりましたが町民各位の益々の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。



年頭に当って

議長

中村 三勇士



新年おめでとうございます。私は、昨年五月から、議長に就任しましたが、その後、議会の円満な運営と町政の伸張を第一義として、誠心誠意努力してまいりました。

おかげをもちまして、大過なく越年することができました。これはひとえに皆様方の御支援の賜と心から感謝申し上げます。

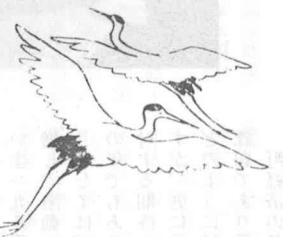
さて、本町にとって新しい年は、どんな年でございましょうか。皆様方も御承知のように国においては財政危機を訴え、一般消費税こそあきらめましたが、他に増税の財源を求め、一方では行政改革をはじめ、福祉の洗い直し、義務教育の有料化、補助金の整理等、骨をけずり、至るまで超緊縮財政を強いる方向にあるように感じます。

したが、内三千七百二十七万六千円を積立て、家庭で言うならば貯金現在高は、八千七百三十一万二千円に過ぎません。一方、起債と申しております借金は、十四億三千四百八十一万円で、五十四年度末には十七億五千万円程度になろうと言われております。また、その返済については、新年度からは元利二億七千万円程度で、毎年三千万円から四千万円伸び、四、五年先がピークになるであろうと推計されております。もちろん起債は、国が認めるのであって、ある程度は年度毎に交付税として算入されますけれども、それは限界があつて本町も極めてきびしい財政構造にあると言わねばなりません。

今後、限られた財源の中で措置しなければならぬ事業等は、農政はもとより生活環境の整備、学校改革、パイパス道路問題、神之浜海岸堤防問題、福祉問題、あるいは住宅用地問題、役場庁舎改築等、余りにも重要な問題が山積しております。

これらのことは、重点の置きどころはあるにしても、住民自治の本旨にそつた広い視野にたつた観点から、その解決を図ることは、私共議会と執行部に課せられた重大な使命であることを考えるとき、一致協力して事に當つて行く所存であります。

本年は、サル年であります。サル知恵だけに終わらぬよう衆智を集めて、積極的に町政の内容充実のため、最大の努力を傾ける所存でございますので、何卒、倍旧の御支援と御指導を賜りますようお願い申し上げます。



新春に思うこと

教育長 山下 三郎



新年おめでとうございませう。新しい一九八〇年代を迎え、これからの新しい年が皆様にとりまします充実発展の年でありますよう心から御祈念申し上げます。

顧みますと、昭和五十四年度の学校教育、社会教育の充実にはめざましいものがございまして、これもひとえに町民の皆様と町行政関係の方々、大根占の未来を拓く教育による深い御理解と積極的な御協力によるものと心から感謝申し上げます。

を終え、いよいよ迎えた八〇年代を思い出すとき、国のきびしい財政事情と、石油にかかわる諸問題は私達の生活の中にひしひしと迫ってくる苦難のまくあけをしみじみと思うこととございませう。このような年代を迎えた私達は、いまだ一度ここで立ちどまつて過去をふり返り、あらゆる場における教育のありかたを反省し考え直してみることが、よりよい教育へと指向する向上へのクッションになるのではないでしようか。

物の豊かさに馴れきつてしまつて、物を大切にすることを忘れた「感謝の心」さえも教養で育てられないまま、きびしさのない甘い姿のまま、子ども達が育つていけるとすれば、誠に寒心にはえない事と思ひます。教育には「きびしい、びしびし」とした側面と「やさしく、のびのび」とした側面の二面性が統一されてこそ教育が成り立つということだと思います。「やさしさ、のびのび」した面のみを強調する一面性しかない教育は、教育ではないことを深く銘記すべきではないでしようか。

また、私達は子ども達の幸せな成長を願ひつつも、みなで明るく住みよい格調高い町づくりのために努めたいもののひとつとして、過去に思いをはせながら次のような事を思うこととございませう。それは私が小学校に勤務していた頃のことですが、朝、登校する子ども達が駆け寄つてきて「校長先生、おはようございませう」と大きな声で、目玉をぐりぐりさせながら笑顔であいさつをしてくれる。中には両手には花や草花を、家での出来ごとや、お友達のことまで話しかけてくれる。子ども達は天真らんまんその澄んだ瞳には一点の曇りもなく天使のようである。子ども達の「おはようございませう」の明るいあいさつとその瞳には、心底からのぬくもりとさわやかさを感じるのである。

「挨拶」ということを辞書で調べてみると、「挨拶」とは「強く押す」とか「迫る」という意味がある。「拶」とは「擦」と同じで「こする」とか「触れる」という意味でもともと「挨拶」とは相手にピタリと接近して強く押し触れるという意味がある。したがって「挨拶」は、相手に対してあるいは聞いている人に対して、まともにぶつかり、その人の心にジーンとくるものではなければならぬわけである。子ども達が手にぶらさがり、すり寄つてきて笑顔で話しかけるあいさつは、あいさつの持つ意味そのものである。

農林業センサスに「ご協力」を!!

二月一日を期して、一九八〇年世界農林業センサス(統計調査)が実施されます。この調査は、国・県・市町村をはじめ、各方面で農林業の振興、あるいは地域開発計画などの基礎資料として広く活用されるものです。

調査内容は、「農業調査」と農家以外の事業体調査」とに分け土地の利用状況(作物別の収穫状況など)、労働力、農用機械及び世帯員の就業状況などについて調査します。

調査方法は、部落長さんをはじめ、調査員約六〇名の方々が、各世帯を訪問し、前にのべたようなことについて聞きとり調査をされます。今回のセンサスがより有意義に、内容の確かな結果が生れるよう皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

なお調査内容については、統計以外の目的に使用することとは絶対にありませんので安心してありのままをお答えくださるようお願いいたします。

2月3日スタート!! (郡協協伝大会)

- コース 田代～東串良間12区間(52km)
- 出発時間 田代町午前10時
- 本町通過時間 午前10時40分頃
- ※選手に声援を送りましょう。

体験発表やスローガンを採択

——第二回母子寡婦福祉大会——

母子、寡婦の相互の和と團結を高め、今後の福祉諸制度の一層の充実発展をはかるため、第二回母子、寡婦福祉大会、スポーツ大会が町福祉センター、大中グラウンドで開催されました。

大会には、肝属福祉事務所

長はじめ来賓多数を迎え、関係者約三〇名が出席し、表彰式や体験発表、講演等が行われました。

体験発表では、中国部落の小吉和人君（小六）が「僕のお母さん」と題して、日頃のお母さんに対する感謝の気持ち

を発表し、又、白井部落の小平ハツエさんは「私の歩いた道」と題して力強く生きぬいた半生をそれぞれ発表されました。

この二人の発表に対し感謝と励ましの拍手が会場いっぱいに広がっていました。

午後は大中グラウンドで、来



午後は大中グラウンドで、来賓をまじへ母と子の仲睦まじい競技が賑やかに行われました。今大会を通じて母と子の深い親類と同じ境遇の家族の融和と団結が一層強まることを期待したいと思います。

当日の受賞者（役員として永年献身的に努力された方々は、次のとおり）

小平ハツエ（白井） 石峯ミチエ（神川城） 命苦ハルエ（命苦） 日高シマエ（笹原） 白井シヅ子（毛下）

採択されたスローガン
「幸せは立ち上る心から」
「子をさへ生きぬく母に光を」

謹賀新年

今年こそ死亡事故0の年に

◆今年の安全スローガン◆

● まずゆとり
車間距離にも
心にも

● 安全は
家庭の中から
しつけから

● あぶないよ
あるきながらの
ふざけっこ

子供向け

歩行者向け

運転者向け

《用心こそ安全》

サルも木から落ちる。

空ふかし・急発進・急加速は
他人に迷惑、ガソリンの無駄使い。
安全速度、経済速度40kmで、
ゆっくり走ろう!!

川辺盛康氏
永年勤続特別表彰受賞



全国町村議会
長会創立三〇周年
記念式典において
町議会議員川辺盛
康氏は、永年勤続
特別表彰を受け、
さる十二月定例議
会において、町議
会議長からその表

この表彰は、三〇年以上町村議会議員として勤めておられる功績ある現役議員に贈られたもので、川辺氏は、昭和二十二年議員として初当選以来九期という永い間町発展のために努力してこられました。この間議長として二期を務め

られ、その功績は非常に高く評価されております。

川辺氏の今後の一層のご活躍を期待したいと思います。

産業別

最低賃金改定

— 県労働基準局 —

県の事業所に適用される最

低賃金の改定につき、県産業別最低賃金が次の四産業について改定されました。

業種	最低賃金
（雇入れ後六ヶ月未満の者）	又は清掃若しくは片付けの業務）

○木材、木製品、家具装備品
製造業
日 額 二五九四円（一般労

○機械、金屬製品等製造業

(雇入れ後六ヶ月未満の者又は清争若しくは片付けの業務)

日 額 二五〇三円
一時間 三二三円
(前記以外の業務)

日額二七二六円
一時間三四二円

麓 崎田 ムツ子さん

太陽の子運動推進員

私の受け持ちは木場、大橋上、下部落で麗の川辺タチさんと担当しています。移動の激しい住宅地のため訪問にひと苦労しています。最近母親学級の受診率が低下しているので、なるべく妊婦さんの訪問回数を多くし、母親学級の意義をわかってもらい健診の参加をお願いしています。

三ヶ月健診で指導していきなさいと思ひます。妊婦のみなさんが各種健診に意欲的に参加され、健康で丈夫な赤ちゃんを生み育てることを願う



梨恵は生まれたときは、三一〇グラムで普通でしたが、今八割と標準以上になりとても元気です。やはり母乳のせいでしょうか。最近、ねがえりもうつようになりました。離乳食も少しづつ

与えています。好き、嫌いなく、よく食べてくれます。歯がもう二本もはえています。歯が、私に虫歯が一本もないので、離乳食を与えたあとは、ガーゼでふいてやるなどして虫歯予防に今から注意しています。上の子（悲穂、一才六ヶ月）にまだ手がかりますが、おばあちゃんにかわいがっていただいているので助かります。主人が仕事（農協）から帰ったあと風呂に入れてやりますが、とても喜んでですよ。将来は、健康で素直な女の子に育ってほしいです。



戸籍に関する情報は ホームページ上では 掲載していません

善意の話題

歳末たすけあい募金運動に多くの方から募金をいただき本紙をかりまして、お礼申し上げます。

神之浜二区の河野ムメさんからは年金の端数や買物のおつりなどから金一封。
栄町の市来静雄さんから金一封。
神之浜二区の鶴田ラキヨさんからは買物のおつりの中から金一封。

戦没者墓地

調査に対する謝礼

大分県大野郡三重町在住の黒田タカラさんから金一封。
(町へ寄附採納)

町社協へ

社会福祉事業費にと次の方々から、香典返しにかえ寄附がありました。厚くお礼申し上げます。故人のごめい福を祈ります。()は故人。

錦江園へ

愛知県春日井市在住の中西勝夫さんから つけもの
原製菓・吾平町役場福祉課から みかん
大橋の川野清馬さんから とうふ
専売公社から たばこ
めばえ保育園から もち
国分自衛隊から りんご
みよしやから りんご

すずしろの里へ

鹿児島市の川畑フミさんから いちか
六反田の後釜光徳さんから しいたけ、金一封

伊集院町の太陽の里から

野菜、ジュース

神ノ浜二区の中村三勇士さん

麓の是枝直義さん、根占町の

浜川正吉さんから みかん

埼玉県の坂元美代子さん、旭

町の有川印刷所から 石けん

串良町の橋口ナリ子さんから

里芋、落花生、缶詰

垂水市の大坪ミサさんから

お菓子、みかん

指宿市の坂元重志さん、高山

町の武石嘉信さんから

飲料水

東串良町の中野繁さんから

砂糖

東郷町の田代ツヤさん、本町

の原スミさん、鹿児島市の佐

多正己さん、鹿屋市の西北ト

ヨさん、垂水市の濱島道義さ

ん、根占町の安楽喜造さん、

神ノ浜一区の高崎弘さん、本

町の原製菓、城ヶ崎の福永兼

司さん、堺市の徳永洋子さん

本町の松元玩具、有明町の土

橋芳利さん、大隅町の岡元正

美さんから お菓子

山ノ口の岩元親さん、木原の

大園則雄さん、山之口の山下

トミエさんから 金一封

広報紙の謝礼

兵庫県伊丹市在住の友金郁子さん、麓原清子さんから

金一封

国分市在住の瀬筒武さんから

金一封

